

小林功二



自画像。引き受けたものの、どうしたものか…。結局。
目を閉じる。何が見える? 何が聞こえる?
いつもの絵と同様に下描きなし。いきなり描いてみる。
これ以上、筆が進まない。
だから、そこまで。これが、
自画像。
紙に描いたものはたくさんあります。その中の一枚。
横顔。
これも、ボールペンで一気に描いたもの。それが
自画像。
そう、こんな感じが、今、2022年の自画像。

小林功二

2022 横 303×242mm ケント紙、アクリル絵具、ボールペン

2022 ¥15,000